

がん対策関係予算について

平成20年度予算	545億円
平成19年度予算	534億円

1. 放射線療法及び化学療法の推進並びにこれらを専門的に行う医師等の育成

73億円 (69億円)

【厚生労働省】

54億円 (54億円)

(1) がん専門医等がん医療専門スタッフの育成 3.1億円 (3.4億円)

(2) がん診療連携拠点病院の機能強化 50億円 (50億円)

(3) 国際共同治験及び新薬の早期承認等の推進 0.9億円 (0.5億円)

【文部科学省】大学等におけるがん専門医等の養成 19億円 (14億円)

2. 治療の初期段階からの緩和ケアの実施 【厚生労働省】

6.5億円 (4.8億円)

(1) 緩和ケアの質の向上及び医療用麻薬の適正使用の推進 4.5億円 (2.7億円)

(2) 在宅緩和ケア対策の推進 2億円 (2.1億円)

3. がん登録の推進 【厚生労働省】

32百万円 (22百万円)

4. がん予防・早期発見の推進とがん医療水準均てん化の促進 【厚生労働省】

83億円 (66億円)

(1) がん予防・早期発見の推進 44億円 (30億円)

(2) がん医療水準均てん化の促進 22億円 (18億円)

(3) がん医療に関する相談支援及び情報提供体制の整備 18億円 (17億円)

5. がんに関する研究の推進

382億円 (394億円)

【厚生労働省】臨床への応用等 91億円 (87億円)

【文部科学省】基礎研究等 184億円 (188億円)

【経済産業省】医療機器開発等 107億円 (120億円)

※そのほか、がん検診費用として、市町村に対し地方財政措置を行っている。